

The Japanese and Chinese claim **to have invented** a sport [^]similar to **modern** soccer many centuries ago.

In comparison to modern soccer, / the Japanese game of *kemari* was a game [that used a large ball [stuffed with sawdust]]. China's version, *tsu chu*, **involved** players **<hitting>** a leather, fur-stuffed ball into a small hole.

内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. There is no doubt that *kemari* was established earlier than *tsu chu*. ()
2. The number of players for a *kemari* game is flexible. ()
3. In *tsu chu*, players should hit a large sawdust-stuffed ball into a small hole. ()

覚えておきたい表現

to have + 過去分詞 「…したこと」 (完了不定詞)

ℓ.1 : The Japanese and Chinese claim **to have invented** a sport similar to modern soccer many centuries ago. 「日本人と中国人は、何世紀も前に現代のサッカーによく似たスポーツを考案したと主張している。」

・ claim to have invented ~ 「~を考案したことを主張する」: to have + 過去分詞という完了不定詞は、述語動詞よりも前の時制を表し、「…したこと」という意味になる。本文13行目の to have been held も完了不定詞だが、受動態なので「行われたこと」と訳出するとよい。

Ex. They are believed **to have hidden** some treasure in the mountain. 「彼らはその山中に財宝を隠したと信じられている。」

・ a sport similar to ~ 「~によく似たスポーツ」: be similar to ~ で「~によく似ている」。ここでは sport と similar の間に which was が省略されている。

Ex. a substance **similar to** CFC gas 「フロンガスによく似た物質」

would do 「…したものだ」

ℓ.7 : Many large houses in Japan **would grow** these trees to make a field for *kemari*. 「多くの日本の広い家は、蹴鞠用の競技場を作るために、これらの木を生やしたものだ。」

・ would は「…したものだった」という過去の習慣・習性の意味を表すことができる。「…するものだ」という習性・傾向を表す will の過去形である。過去に繰り返して行ったことを表す時は often を伴って would often do とすることが多い。

Ex. We **would often stay** up till late and talk about many things. 「私たちはよく夜遅くまで起きていて、多くのことを話し合ったものだ。」

It is considered ~ to do 「…することは~と考えられている」 (形式主語構文の応用)

ℓ.12 : **It was considered** an honor **to be** part of a team. 「チームの一員になることは、名誉であると考えられていた。」

・ It は形式主語。真の主語は to 以下である。通常、It is + 形容詞 + to do の形となるが、ここでは It is considered an honor to be ... 「名誉であると考えられている」になっている。これは consider + O + C 「O を C と考える」の受動態 be considered C の C に、an honor が置かれている形である。

Ex. **It is considered** very rude **to point** at someone. 「人を指差すのは非常に失礼だと考えられている。」

整理しよう! *段落要旨・構造*

1 フットボールの起源についての論争

・ 日本と中国が、自国のスポーツこそがサッカーの起源と主張。

2 日本起源の蹴鞠の特徴

◆ ℓ.6 **In comparison to ~ 「~と比べて: 対比」**

現代のサッカーと比べると、

- ・ 道具はおがくずを詰めた大きな鞠。
- ・ 競技場は4種の木を選んで設営。木の種類は、サクラ、カエデ、マツ、ヤナギ。
→ 広い家は蹴鞠用にこれらの木を植えていた。
- ・ 競技者数は2人~12人。

3 中国起源の *tsu chu* の特徴

- ・ 毛の詰めてある革製の鞠を蹴って小さな穴に入れる内容。
- ・ サッカーと同じく、プレイ中は手を使えない。
- ・ *tsu chu* のチームに入ることは名誉とされた。
- ・ 蹴鞠の最古の国際試合は、中国で紀元前50年頃に行われたと考えられている。

背景知識

● 中国の蹴鞠 (*tsu chu*) とサッカー: 発祥の言い伝えの類似性

tsu chu は、中国古代の神話上の統治者とされる黄帝 (紀元前2500年頃の人物とされる) が創始であるという説がある。帝の治世、蚩尤という人物がいたが、この人物は帝に取って代わろうと自分の親族や武器を駆使して戦をしかけたとされる。これに対抗し、戦いを続けた黄帝はついに勝利を治めるところとなり、首謀者である蚩尤を捕えて斬首し、その首を鞠のように蹴ったことが *tsu chu* の始まりとされる。

一方、イングランドで伝わっているサッカーのルーツは次のとおりである。9世紀以降、本格的にブリテン島に進行してきたデーン人と、先にブリテン島を支配していたアングロサクソン人が戦ったが、アングロサクソン人が勝利を治めることとなった。この際、中国の場合と同じように、敵方であるデーン人の首を蹴ったことが始まりとされている。戦にはよくあるように、見せしめの意味も含まれていたのかもしれない。

【深めたい人に】: 右田伊佐雄『手まりと手まり歌 — その民俗・音楽』(東方出版, 1992年)